

# ファゴット演奏者倶楽部第7回演奏会

2020年9月20日(日)14時開演 荻窪Gran Duo

P.M. デュボア	(仏/1930~1995)	“ファゴットのお話” 1976	(Fg)山田・吉倉・森川・阿部
マイルズ	(米/1913~ )	“ハートビートワルツ”	(Fg)山田・大石・阿部
フックス	(独/1752~1821)	“Fl. Cl.とBn.の為のトリオ”	(Fl)信澤(Cl)兼氏(Fg)吉倉
コレット	(仏/1707~1795)	“レ・フェニックス”	(Fg)吉倉・大石・山田・森川
グリーア	(米/1896~1970)	「お茶目な人」	(Fg)阿部・大石・森川・山田
--- Intermission---			
ゼレンカ	(捷/1679~1745)	“トリオ・ソナタ第5番”	(Ob)楠原・山本 (Fg)阿部
スターク	(仏/1856~1964)	“2 ClとFgの為のソナタ”	(Cl)兼氏・向山 (Fg)大石
NH. ブラウン	(米/1896~1964)	“綺麗な人形の結婚式”	(Fg)森川・山田・吉倉・阿部
プロコフィエフ	(露/1891~1953)	“東の間の時間”	(Fl)信澤(Ob)楠原(Cl)向山(Fg)吉倉
フランセ	(仏/1912~1997)	“四重奏曲” 1933	(Fl)信澤(Ob)山本(Cl)兼氏(Fg)森川
リダウト	(英/1934~1996)	“ピッグス”	(Fg)山田・吉倉・大石・阿部

## 出演者の簡単なプロフィール(50音順)

### ファゴット演奏者倶楽部のメンバー

#### 阿部寛一(あべ けんいち) 本日の使用ファゴット~Heckel

京都大学交響楽団で活躍する。ファゴットを日名弘見氏に師事。現在は東京アマデウス管弦楽団、アンサンブル・メゾン、管楽合奏は楽しい会?で演奏活動。令夫人はプロのヴァイオリン奏者、二人の令息はヴァイオリンとチェロを弾き、令嬢は藝大卒の声楽家と言う音楽一家の大黒柱。欧米、アジア各地へ海外出張の多い国際派ビジネスマンでもある。アメリカに赴任の為に日本での活動を2年ほど休止したが、帰国後復帰し管楽合奏とオケ活動を再開する。ファゴット演奏者倶楽部設立世話人

#### 大石龍巳(おおいし たつみ) 本日の使用ファゴット~Püchner

京都大学交響楽団で活躍する。阿部氏の後輩である。現在はアンサンブル・メゾン、管楽合奏は楽しい会?で演奏活動中。本業は地方公務員。横浜で街づくりの仕事に携わっている。日く、天気の良い日のランドマークタワーの眺望は最高。演奏会にお出での皆さん、横浜に行きましょう!

#### (+解説)森川 一(もりかわ はじめ) 本日の使用ファゴット~Pickert

法政大学在学中ファゴットを始め、菅原暁氏に師事。同校卒業後、東京藝大別科で三田平八郎氏に、その後元ハンブルク州立劇場奏者フリッツ・ヘンカー氏に師事する。フリーの奏者として活動し今日に至る。78年より毎年ソロ及び室内楽の演奏会を主催。その他オケのトレーナー、文筆など多岐に渡る活動を行う。「管楽合奏は楽しい会?」及び「フルスヴァルト合奏団」「森川室内楽」などを主宰、またリード製作者としても高い評価を得ており「森川ファゴット&リード倶楽部」を運営している。ファゴット演奏者倶楽部設立世話人代表

#### 山田祐理(やまだ ゆうり) 本日の使用ファゴット~Mollenhauer

10歳くらいまでヴァイオリンを、中学でユーフォニウムを吹き、法政二高吹奏楽部でファゴットを始める。その後法政大学交響楽団、ジュネス等で演奏。ファゴットを森川一氏に師事。現在は東京アマデウス管弦楽団、ナズドラヴィ・フィルハーモニー、管楽合奏は楽しい会?で演奏するほか、エキストラとして数多くのオケに出演。背にはコントラ、手にはファゴットを持ち東奔西走している。平日は大学教員(物理化学)。ファゴット演奏者倶楽部設立世話人

吉倉弘高 (よしくら ひろたか) 本日の使用ファゴット～FOX 600SS

高校入学と同時にファゴットを始め、加藤洋男氏に師事。その後横浜国立大学管弦楽団でオーケストラ活動を開始。大学卒業後、三鷹市管弦楽団を経てダングダーク管弦楽団、ナズドラヴィ・フィルハーモニーで活動中。また大学在学中から休止になる2001年までジュネスに参加し、最後の青少年音楽祭では首席を務めた。

註)ジュネス JEUNESSES MUSICALES 青少年音楽世界連合～ユネスコ傘下組織/本部ブリュッセル～日本ではNHKに支部があり、東京その他で25歳以下(後に30歳未満)の若者を対象に毎年音楽祭(合唱・マンドリンオーケストラ・交響楽団)を催したが、2001年を最後に日本での活動を休止した。

## 賛助出演の方々 (パート別50音順)

(F1)信澤達也 (のぶさわ たつや)

高校1年のとき隣席の友人の勧めでフルートを始め、磯辺庄平氏に師事。東京大学音楽部管弦楽団を経て卒業後は東京アマデウス管弦楽団(2009～2014は団長)で活動。鉄鋼系化学メーカーで永らく研究職を勤めたが現在は特許関係の仕事に移った。終日机に向かう仕事なので運動不足が気になる気になる昨今である。現在、職場のビッグバンドでは何とバストロンボーン兼コンサートマスターとして活動中。

(0b)楠原千佳子 (くすはら ちかこ)

中学からオーボエを始め、藤原勲氏に師事。東京大学音楽部管弦楽団を経て、現在は東京アマデウス管弦楽団及びアンサンブル・メゾンに所属。大学～大学院を通して、コンクリート相手の研究で手がザラザラした時期もあったが、現在は少し手にやさしい社会人となった。

(0b)山本悦子 (やまもと えつこ)

中学でオーボエを始め、専修大学フィルハーモニー管弦楽団を経て、2001～2013年までエルムの鐘交響楽団にて活動。2008年からハルモニア合奏団で管楽アンサンブルを始め、2014年から「管楽合奏は楽しい会？」に参加。オーケストラは合奏団ZER0に所属している。勤務先の病院では応報・図書室・院内コンサートなどの担当をしている。自他ともに認める無類のパンダ好きで、シャンシャンの名付け親である。近頃は上野と和歌山に通い、予パンダの成長を楽しみに見守っている。

(C1)兼氏規雄 (かねうじ のりお)

東京藝術大学附属高校を経て同大学卒業。ミュンヘン国立音楽大学留学。NHK洋楽オーディション合格。NHK「午後のリサイタル」等に出演。水戸芸術館「公募企画シリーズ」の第1回出演者に選出されリサイタルを開催。08年、東京オペラシティでのリサイタルについて、「音楽の友」誌上で絶賛される。水戸芸術館主催の「茨城の名手・名歌手たち」オーディション審査員、「茨城の演奏家による演奏会企画」選考委員、茨城県の新人演奏会出演オーディション審査員、新人賞選考委員。また、日本クラシック音楽コンクールの全国大会木管楽器部門審査員も務める。現在、上野学園大学音楽学部、茨城大学教育学部、大東文化大学文学部講師、水戸ゾリス代表。フルスヴァルト合奏団同人

(C1)向山尚志 (むこうやま たかし)

12歳よりクラリネットを始める。東京大学入学と同時に音楽部管弦楽団に所属、この間にクラリネットを故・浜中浩一氏ほかに師事。1974～2003年まで東京アマデウス管弦楽団に所属。管楽合奏は楽しい会?に2002～03年に参加。その後仕事で東京を離れたが、2017年の演奏会から管楽合奏は楽しい会?に復帰する。

本日のご来駕、有難うございます。今年は皆様もご存知の様に、演奏を志す者にとって最悪でした。特に管楽器は息を使うという事から、飛沫が多いのでは無いかという疑いを掛けられ、ホールも練習所も貸してもらえない有様です。東京都響やウィーンフィル、その他の機関で実験調査したところ、殆どの管楽器は飛沫が飛びません。唯一飛ぶとされたフルートでも、通常の会話より飛ばない事が証明されています。

本日もファゴットからの飛沫は一切ありませんので、ご安心下さい。もし飛ぶとすれば、解説の私、森川が一番危ないかも知れません(笑)

冗談はさて置き、本日もバロックから現代の作曲家までの室内楽をプログラミングしました。

ファゴットだけのアンサンブルのオリジナルは、それほど多く無いので編曲物も入りますが、それがこの楽器の多様性を示す気もしています。長い演奏会ですが、お楽しみ戴ければ幸いです。

もし宜しければ感想や要望、苦言提言など下記メールアドレスにお寄せ下さい

heckelbasson@yahoo.co.jp